

市議会だより Obanazawa

125

令和7年5月1日発行



福原中学校 最後の 希望の新生17名

contentts

新年度予算	4
総括質疑	8
一般質問	12

特集 福原中学校 最後の入学式



『郷土を愛し、明優で「二カ一心」を育む福中』を学校教育目標に掲げる福原中学校は、昭和22年5月3日に開校し、令和7年で79周年を迎えます。現在の福原中学校舎・体育館等は平成19年に完成しており、開校から80周年を迎えることとなる令和8年度には、市内の中学校が1校に統合することが予定されております。

今年度入学された17名の生徒が、現在の校舎で迎える最後の入学生であり、福原中学校における最後の入学式となります。この議会だよりは、永久保存版でお願い致します!!



在校生を代表して生徒会長の渡辺翔斗（わたなべたかと）さんが、新生へ歓迎のことばを述べました。



新生を代表して、菅野結愛（すがのゆあ）さんが「誓いのことば」を述べました。



新生を代表し、岩崎べに（いわさきべに）さんが鈴木校長先生から教科書を受け取りました。



1年1組担任 伊藤悠斗先生からのメッセージ

17名の皆さんご入学おめでとうございます。福原中学校最後の新生として迎えられたその姿は自信に満ち溢れ堂々としていました。これから「青春」という2文字を自分自身で描いていくことになります。たくさん挑戦して、経験して、この1年でしか味わうことのできない「福中 life」を謳歌してほしいと思います。そして、将来、尾花沢市や山形県を支える立派な姿に成長することを期待しています。

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議長	発行責任者
高橋	菅藤	和田	鈴木	伊藤	畑中	土屋	菅野	
隆雄	昌己	哲	清	浩	和恵	範晃	修一	

みなさんにとって「春の曲」といえば何ですか？私は春を感じるといつい春の曲を口ずさんでしまいます。あの曲と、この曲も…。みなさんオススメの曲をぜひ教えてください。さて、3月定例会が閉会しました。ボリューム満点の議案審議！さあ、議会だよりを編集するぞ！と意気込みはあるのですが、あれもこれもお伝えしたいことが沢山あって、限られたページ内で表現する難しさを常々感じています。編集委員一同協力し、手に取って読んでもらえる紙面づくりに努めてまいりますので、今後ともみなさんの春のような温かい声をお聞かせください。（できればオススメの曲と一緒に）

(和田 哲)

あ
と
が
き

令和6年度3月補正予算

豪雪対策に全力!! 令和6年度2月補正予算

豪雪対策本部が令和7年2月5日に設置されました。
同年2月14日臨時会を開催し、令和6年度一般会計予算に除排雪経費等、1億1,535万円を追加補正し、予算総額を171億1,648万円としました。

◆令和6年度3月補正予算 一覧

◆一般会計補正予算

歳入歳出補正予算 1億5,946万円
歳入歳出総額 172億7,595万円

◆国民健康保険特別会計補正予算

・事業勘定

歳入歳出補正予算 1億409万円
歳入歳出総額 22億5,608万円

・中央診療所施設勘定

歳入歳出補正予算 ▲1,199万円
歳入歳出総額 3億9,002万円

◆簡易水道特別会計補正予算

歳入歳出補正予算 ▲980万円
歳入歳出総額 1億5,664万円

◆介護保険特別会計補正予算

歳入歳出補正予算 4,630万円
歳入歳出総額 20億8,920万円

◆後期高齢者医療保険特別会計補正予算

歳入歳出補正予算 ▲148万円
歳入歳出総額 2億7,451万円

◆令和6年度2月補正予算 一覧

1. 道路維持費(除排雪委託料)	1億円
2. 除雪サービス事業 高齢者のみの世帯、重度心身障がい者世帯に1万円分を追加交付。	585万円
3. 除排雪・雪下ろし委託料 公立保育園150万円、公共施設200万円	350万円
4. 中小企業者等除雪経費助成金	600万円



いよいよ統合小学校建設が本格化
過去最大 令和7年度一般会計 予算 **165億7,500万円** 前年度比 **15.3%増**



新年度注目事業

農業振興

- ◆遊休農地リフレッシュ&アクション事業
 荒廃農地解消のため、農地の障害物除去や整地等の再生作業経費を補助する。
- ◆尾花沢すいかの多様な人材の活動促進
 尾花沢すいか農業女子の活動支援と「尾花沢すいかヤングサミットwith女子会」の開催。

企業振興

- ◆尾花沢市グローバル人材サポート「日本語教室」開催
 日本語教師を招き、市内企業の外国人労働者向けに日本語教室を開催する。

子育て支援

- ◆妊婦支援給付・包括相談支援事業
 全ての妊婦が安心して出産子育てができるよう『相談支援の充実』と『経済的支援の充実』を図る。
- ◆学校給食費完全無償化事業
 自校式及び共同調理場方式で提供する小中学校給食の保護者負担を免除する。

道路整備

- ◆行沢橋架け替え事業
 損傷の激しい行沢橋架け替えの調査設計業務を実施する。

安全安心

- ◆救急医療情報共有システム導入事業
 村山地域の消防本部連携の救急医療情報共有システムを導入する。

統合小学校建設

工事請負費	23億9,360万円
工事監理業務委託料	2,412万円
発注者支援業務委託料	440万円
学校林伐採、製材等業務委託	7,326万円

令和7年度 予算一覧

◇ 一般会計

歳入歳出総額 165億7,500万円

◇ 特別会計

- ・国民健康保険特別会計
 歳入歳出総額 18億7,253万円
- ・中央診療所施設勘定
 歳入歳出総額 4億77万円
- ・介護保険特別会計
 歳入歳出総額 19億4,133万円
- ・後期高齢者医療保険特別会計
 歳入歳出総額 2億6,707万円

◇ 事業会計

収益的収入支出：固定資産の維持管理や原状回復のための費用
 資本的収入支出：固定資産の価値や機能を向上させるための費用

- ・簡易水道事業会計
 収益的収入支出総額 2億3,240万円
 資本的収入支出総額 1億6,588万円
- ・農業集落排水事業会計
 収益的収入支出総額 7,047万円
 資本的収入支出総額 5,395万円

【定例会のあらまし】

3月定例会は、2月28日から、3月19日までの20日間開かれ、令和7年度の予算の審議については、一般会計予算案、特別会計予算案は全会一致で可決されました。また、令和6年度補正予算6件、条例の制定及び設定7件、委員の選任の人事案件2件、一般議案2件、議案1件を可決しました。最後に閉会中の各常任委員会及び議会運営委員会において所管事務調査を継続していくことを確認しました。

議第7号が可決されたのち、青野議員より附帯決議動議が出されました。

「議第7号 令和7年度一般会計予算」に対する **附帯決議動議**

附帯決議の提案

大会継続の補正予算を



青野隆一 議員

令和7年度尾花沢市一般会計予算案に、これまで35年間続けてきた「山形県少年少女俳句大会」開催の予算が計上されておりません。この大会は、平成元年の俳聖松尾芭蕉来訪300周年を記念に開催され、俳句づくりを通して、明日を担う県内の多くの少年少女に対し、豊かな感性と心を育ててきました。

長年に渡り、「芭蕉10泊11日のまち尾花沢」を県内外に発信し続けてきた本大会をこれからも継続すべきという声が、全員協議会や総括質疑を通して出されました。これに対し、社会教育課長からは、「今の職員体制で大会を継続するためには、市内に限定するなどの規模の縮小が必要である。」市長からも、「新たな姿を検討して開催したい。」との答弁がありました。大会を開催するためには、職員の負担を軽減する費用も含めた予算が計上されなければなりません。さらに、開催方法についても、選考や関係者の皆様や市議会に対して十分な説明を行い、理解を得ることも必要不可欠です。

つきましては、この大会が果たしてきた歴史的な経緯や教育的効果を十分に勘案され、確実に再開されるために「山形県少年少女俳句大会を継続するための補正予算を計上すること」を要望いたします。

【附帯決議】とは

附帯決議とは、可決された法律案や議案に、事業の執行に関する要望や留意事項を付す決議です。政治的効果はありませんが、法的効力はありません。

反対

中立に総合的判断を



和田哲 議員

議会総意の意思表示とするには、今すぐ補正予算を求めるのではなく、事業中止に至った背景などの実情を斟酌（しんしゃく）し、中立的な協議を踏まえたいうえで、適宜判断する方法もあるのではないのでしょうか。今後については、本会議閉会後も、担当課や関係者等の声を丁寧にお聞きするなど、議会側から進んで協力していくことも良いと思います。また、限られた人材、限られた財源のなかで、市民が公共の利益を享受し続けられるためには、事業の取捨選択によって得られる公益も考慮した、総合的な判断に基づく予算審議が求められています。

以上ことから、山形県少年少女俳句大会の存続については同様に切望するところですが、附帯決議を付するかどうかについては、前述の理由をもって慎重に判断すべきです。

反対

常任委員会協議と子どもたちの声を



畑中和恵 議員

本来、少年少女俳句大会を当初予算に計上しなかった経緯や常任委員会において当局からの説明がなかったことを疑問視しています。ですが、市長答弁におきまして、「新たな方向性で開催していく」との答弁もいただいておりますので、反対です。それよりも常任委員会において当初予算に予算を計上しなかったことの経緯やこれからの方向性についてしっかりと慎重に協議していくべきと考えます。また、俳句をつくる子どもたちの声も取り入れるべきではないかと私は考えますので、この動議には反対です。

採決は 5対8 賛成少数！

よって「議第7号 令和7年度一般会計予算」に対する附帯決議は否決されました。

賛否状況 (○…賛成、×…反対)

青野隆一	伊藤 浩	鈴木由美子	土屋範見	鈴木 清	菅藤昌己	畑中和恵	高橋隆雄	安井一義	菅野喜昭	和田 哲	星川 薫	大類好彦	菅野修一
○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	議長



議案番号	審議した議案等	審議結果
議第2号	令和6年度尾花沢市一般会計補正予算(第12号)	可決 (全会一致)
議第3号	令和6年度尾花沢市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	
議第4号	令和6年度尾花沢市介護保険特別会計補正予算(第3号)	
議第5号	令和6年度尾花沢市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第3号)	
議第6号	令和6年度尾花沢市簡易水道事業会計補正予算(第4号)	
議第7号	令和7年度尾花沢市一般会計予算	
議第8号	令和7年度尾花沢市国民健康保険特別会計予算	
議第9号	令和7年度尾花沢市介護保険特別会計予算	
議第10号	令和7年度尾花沢市後期高齢者医療保険特別会計予算	
議第11号	令和7年度尾花沢市簡易水道事業会計予算	
議第12号	令和7年度尾花沢市農業集落排水事業会計予算	
議第13号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の設定	
議第14号	尾花沢市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定	
議第15号	尾花沢市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	
議第16号	尾花沢市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定	
議第17号	尾花沢市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定	
議第18号	尾花沢市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定	
議第19号	尾花沢市共同福祉施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決 (全会一致)
議第20号	損害賠償の額を定めること	
議第21号	尾花沢市固定資産評価審査委員会委員の選任	
議第22号	尾花沢市固定資産評価審査委員会委員の選任	可決 (全会一致)
議第23号	令和6年度尾花沢市一般会計補正予算(第13号)	
議第24号	市有財産の無償貸付	
議会議案第1号	国による学校給食の無償化を求める意見書の提出	

お詫び



前号の市議会だより2月1日付124号において、18ページの見出しが紛らわしいとのご意見をいただきました。「統合小学校建設用地造成工事に全議員が反対」の表現により、学校建設工事自体に全議員が反対したと誤解された方がおりました。正確には、「統合小学校造成工事の変更契約案の説明」に疑義が生じたため、変更契約案に反対したものです。今後、わかりやすい見出しの掲載と誤解を生じることのないよう編集してまいります。

さらに深掘り!

総括質疑

全議員をもって構成する予算特別委員会が3月7日に設置され、議場では10日〜11日にかけて予算案に対する総括質疑が行われました。質疑できる時間は、一人当たり30分の持ち時間を各会派に配分されることになっており、合計約36分に及び質疑と答弁の議論が繰り広げられました。その質疑と答弁の主な内容についてお伝えします。なお、土屋範晃予算特別委員長と菅野修一議長の2人は役職上、質疑ができないこととなっています。

県衛星通信システム 第3世代化

(伊藤 浩)

Q 消防費の県衛星通信システム第3世代化の内容は。

A また、予算1,533万円の内、一般財源負担ほどの位が。

Q 国の第3世代地域衛星通信ネットワークと互換性を持たせるために、県が新たに整備するシステムの構成団体の負担金となる。従来比で悪天候に左右されずに災害に強いシステムと伺っている。一般財源での負担は460万円である。

学校給食について

(鈴木 由美子)

Q 給食本来の目的は心身の健全な発達にあり、保護者のオーガニック食材や環境・健康への関心も高まっている。農業支援策である循環型農業による有機米を採用することや食育推進計画と一体的に取り組み、事業の効果を上げるべきでは。

A 現在、学校給食会から納入された尾花沢産はえぬぎを提供している。尾花沢産有機米については把握していない。

徳良湖周辺施設整備

(菅野 隆一)

Q 全面芝張りする徳良湖周辺施設整備費について伺いたい。

A 工事費6,500万円、緑地管理業務220万円、自動芝刈り機導入関係360万円を考えている。

Q 3年間で1億5千万円の投資となる。維持管理費に見合う収入を確保すべきではないか。

A イベント開催などの活用や収入については、来年度考えたい。

山形県少年少女俳句大会

(鈴木 清)

Q 中止を判断した理由は何か。また大会を継続するにはどのような課題があるか。

A 県内すべての小中学校への大会の周知や募集、選句、表彰等業務が過重になっている。今後は、運営を市民の実行委員会にすることや、関係者に相談するなどして新たな姿を模索して実施したい。

統合小学校建設

(菅藤 昌己)

Q 発注者支援業務委託とは。

A 入札指導や相談業務の委託。委託先は公的機関を予定。

Q 学校林伐採、製材等業務委託について伺う。

A 市内小学校の伐採と機械乾燥による製材を予定している。地場産木材をふんだんに使用した学校ができる。
Q 監理業務委託とは。
A 精通した設計会社などに委託する予定である。

市女性農業者会補助金

(畑中 和恵)

Q 補助金の目的は。

A 令和3年に国が決定した「女性活躍・男女共同参画の重点方針」に則り、女性農業者がより一層活躍できるよう支援することが目的。主には3月に設立された「尾花沢すいか農業女子COCEL(コシエル)」の活動を支援する。農業の魅力を全国に伝え、地域の活性化に繋げていきたい。

地方創生地域づくり アドバイザー事業

(高橋 隆雄)

Q 特定地域づくり事業協同組合の設立はどう進める計画か。

A アドバイザーの支援を受けながら、令和6年度は組合員や事務局員を選定した。今後は、定款の作成、設立総会の開催、県への認可申請、設立の登記、労働局への届出を進めていく。

地域一斉除排雪

(安井 一義)

Q 事業の詳細は。

A 決められた日時に市道に出された雪を除排雪する。1集落あたりの限度額は20万円。

Q 事前に雪を出せないか。当口に出していただく。

市営住宅宮繕事業

(和田 哲)

Q 事業の拡充により昨年度より予算が増額された。その概要について伺う。

A 既存の通常事業に加え、令和7年度は新規事業としてエアコンや照明器具等の設置工事を行いたい。目的は、被災された方が一時入居した場合に、少しでも快適にお過ごしただけよう整備するものである。

流雪溝整備事業

(星川 薫)

Q 新規、測量設計、東光台地区流雪溝とあるが、平成23年6月請願第7号が採択されてから14年の時を経た経緯について伺う。

A 流雪溝整備事業については、水の確保などの要件が整った地区から整備してきた経緯がある。この度、東光台地区の分水が可能であると判断したため、着手することになった。

シルバー人材センター 運営補助金

(大類 好彦)

Q 社会環境の変化が激しい今日、シルバー人材センターの役割は大事なものになっていると考えるが、運営についてどのように考えているか。
A 重要なものと捉えている。家賃、除雪費などを考え、100万円上乗せしている。今後ともシルバー人材センターの役割を考え、適切に対応したい。



流雪溝整備が行われる東光台地区



質疑1日目



質疑2日目

質疑の様子はこちらのQRから

予算特別委員長報告

令和7年3月10日～3月18日まで開催された予算特別委員会における各委員からの意見を踏まえて、3月19日に予算特別委員長による報告が行われました。

歳入 地方交付税4.7%増、寄附金15.6%増。自主財源確保に期待。

市税

定額減税の影響がなくなることや、農業等の個人所得増加により大幅増の見込み。

コンビニ収納やキャッシュレス決済、夜間納税相談など、さらなる収納率向上を期待。

ふるさと納税

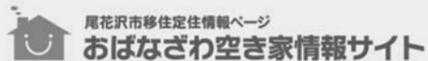
15億5千万円を見込む。

クラウドファンディング型のふるさと納税を調査研究し、寄附拡大に向けた効果的な取り組みを要望。

歳出 事業の効果の検証を行い、重点事業に取り組まれるよう要望。

空き家活用支援事業

解体に係る補助制度を活用しながら、空き家・空地バンク制度の利用促進を図られるよう要望。



民生委員活動事業

一人当たりの活動費交付金の市費上乗せ加算分の増額が民生委員の担い手に繋がることを期待。

有害鳥獣対策事業、ジビエ調査研究

県に対する支援制度創設の働きかけを要望。



徳良湖周辺施設整備事業

緑地の維持管理に自動芝刈り機を購入。緑地の有効活用や雑草対策の検討を要望。

学校給食費完全無償化事業

業務委託によって市民アンケートを実施することなどの詳細な説明があり、これを了承。



ゼロカーボンアクションポイント事業

デジタル化や事業周知を図りながら、市民が環境に優しい行動に取り組んでいただけるよう要望。

産後ケア事業

業務委託によって市民アンケートを実施することなどの詳細な説明があり、これを了承。



おばねくらし応援券事業

全世帯に1,500円の商品券配布を予定。R6年度の利用率77%から、さらなる利用率の向上に向けた周知の徹底を要望。

救急医療情報共有システム導入事業

傷病者の搬送先医療機関が決まるまでの時間短縮と早期治療に繋がるよう要望。



文化財キーパー設置事業

若い人材の育成と本市の大切な文化財を守ることを要望。

予算特別委員長報告の様子は、こちらからご覧いただけます



予算案を慎重に審査するため、各常任委員会を母体とする2つの分科会が設置されました。それぞれの分科会では、終始活発な質疑応答や要望等の意見が出されました。



分科委員長報告

総合振興計画後期基本計画策定

業務委託によって市民アンケートを実施することなどの詳細な説明があり、これを了承。

防災情報発信アプリ

アプリのダウンロード数増加に向けて、さらなる周知を図るよう要望。



防災アプリのダウンロードはこちらから ▶



第1分科会

総務文教

書かない窓口

活用状況や作成可能な申請書などについて、取り組みをホームページ等で周知することを要望。

学校林伐採等業務委託

統合小学校建設に当たり、細野地内の学校林活用を了承。議会へ進捗状況を適宜報告する旨要望。

芭蕉、清風歴史資料館費

芭蕉、清風歴史資料館独自のホームページやSNS等を開設し、広報されることを要望。

消防団の再編成について

再編成の際には、地区民の意見も取り入れ、柔軟に対応されるよう要望。

板橋桜川地区・常盤地区交流事業

小学校統合後も継続して実施していきたい旨の説明があり、これを了承。

体育施設費

市体育館トレーニングジム内の器具更新について了承。利用者の意見を取り入れた環境整備を要望。

第2分科会

産業厚生



中山間共同活動の様子

雪対策・新エネルギー推進費

徳良湖マイクロ水力発電設備修繕を了承。費用対効果等を含め検討するよう要望。

民生委員活動費交付金

なり手不足解消となるよう、国及び県への働きかけを要望。

生涯元気づくりポイント事業

若者世代への普及拡大を図るため、デジタルの活用などの検討を要望。

中山間地域等直接支払交付金事業

取り組みを維持できない集落協定に対し、他地域とのネットワーク化を図られるよう要望。

不良住宅除却促進事業補助金

より利用しやすい制度となるよう、国や県に対する制度の見直しなどの働きかけを要望。

訪問介護運営安定化事業補助金

持続的な訪問介護サービスの提供のため、事業所の運営状況を注視しながら適切な支援を要望。

じもと就職応援スタートアップ奨励金

地元企業への就職希望者を増やすため、事業のPRや企業の魅力をアップさせる取り組みを要望。

山形大学工学部企業視察会送迎業務委託料

地元企業への就職につながるよう、就活生や近隣の高等専門学校・大学への対象拡大を要望。



行政ができる企業振興策を

問 ハローワーク村山管内の「正社員有効求人倍率」は1.0を割っており、県内最下位と深刻な状況にある。地域経済のパロメーターは、「設備投資と雇用の拡大」と考える上で、2024年の市内製造業

答 把握していない。
問 市内企業が直面する課題として、特に20代から30代の若い働き



鈴木由美子議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 市内企業の景気の現状は

答 企業毎に景況感に差がある

の設備投資総額はどうか。また12月末現在、雇用の増減（前年同月比）はどのような状況か。

答 把握していない。
問 市内企業が直面する課題として、特に20代から30代の若い働き



現状把握せずして対策は打てない!

手が不足しているとのことだが、若い方から就職先には選ばれるための国の認定制度を導入するよう働きかけはどうか。

答 企業懇談会なども周知に努める。

問 2024年の景気動向を踏まえた令和7年度の戦略的企業振興策が少ない。行政が出来る支援策として、価格交渉セミナーや商談会・企業マッチング・先進地との交流事業など積極的に予算化していくべきでは。

答 各企業の問題解決に個別対応しているが、共通課題を把握したうえで実施していきたい。



星川 薫議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 消火栓の雪囲いについて

答 管理は地元消防団に依頼

いる。

問 雪囲いの設置を地区に負担させるのは見直し、市が予算を確保する方法が適正ではないか。

答 法令に沿った予算措置が必要となってくるので、消火栓に関する



消防署で新設された消火栓と雪囲い

る予算については、関係課にて調整させていただきます。



地区の負担を減らさないと

よりよい尾花沢市を目指して!

10人の議員は
こう質^{ただ}した!

令和7年3月定例会 一般質問

※青文字タイトルが掲載

鈴木由美子	① 企業振興策	安井一義	① 流雪溝のグレーチング等の管理状況 2 「あいさつ条例」の制定 3 市外からのスポ少や学校関係者の合宿等でPRの状況
星川薫	1 統合小学校建設における市民の声 2 パレットスクエア跡地の利用計画 3 居住空間安全対策事業費補助金 ④ 消火栓の管理	青野隆一	① 第2期尾花沢市総合戦略 2 地域計画と食農教育 3 ふるさと納税
畑中和恵	① 尾花沢市路線バス 2 学習情報センター「悠美館」の在り方	高橋隆雄	① 地域コミュニティ 2 人流データ分析の活用
土屋範晃	1 徳良湖周辺整備マスタープラン ② 子どもを産み・育てやすい環境づくり	菅藤昌己	① 市役所の職場環境 2 特別会計の運営
伊藤浩	① 農業を取り巻く課題 2 新年度の移動市役所の活用	鈴木清	1 地域公共交通の総合的推進を 2 統合小学校の放課後児童クラブ ③ 会計年度任用職員の雇用保障と処遇改善 4 青空の下の学校プール



畑中 和恵議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 尾花沢市路線バスについて

答 ニーズを把握し、検討する

問 尾花沢市各路線バスの運行状況と利用人数について伺う。

答 市営の路線バスは8路線であり、今年度1月末までの利用者は市内循環線925人、市野々線3,689人、



路線バスをもっと便利に



問 休日便の原田線を活用し、徳良湖周遊路線とし、停留所を増やして市民がもっと自由に徳良湖周辺の施設を利用できるようにするべきではないか。来年度のA-デマンド交通の実証実験の中でも徳良湖エリアを含めて検討していただきたい。

答 ニーズを把握し、必要とする場所を今後検討する。A-デマンド交通実証実験は現在の循環線運行区域をベースとし、ヤマザワやびつくり市までエリアを拡張し運行する。利用率や費用を検証し徳良湖まで拡張できるか検討していく。



伊藤 浩議員

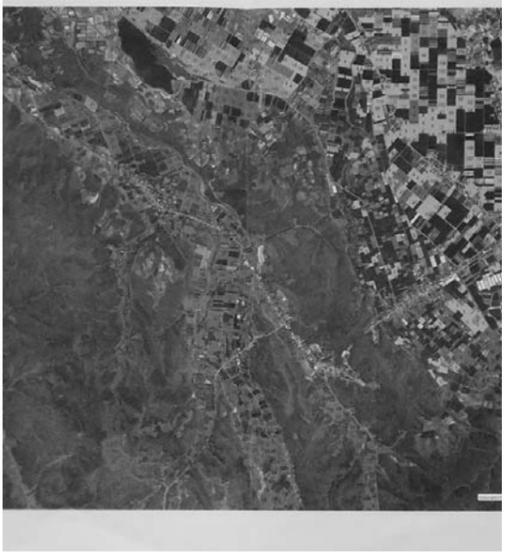
一般質問・答弁
全文はこちらから



問 地域計画をどう進めるのか

答 35の組織体をベースに進める

問 今後の尾花沢の農業の基盤となる地域計画のベースが完成しようとしている。家族農業や小規模の農家もこれからも一緒に参画出



地域計画目標地図素案



答 地域計画は平成24年からスタートした、人・農地プランがベースになっているところが大変大きい。地域計画は策定して完了ではなく、10年後の将来像の実現に向けて話し合いを進めていくもので、この度作成した目標地図についても、現時点では現状の耕作状態に基づく部分が多く、将来像については今後も話し合いを続けていかなければならない。今後、人・農地プランの35組織を母体として、その意見が地区の協議会に反映されるような流れで進めていきたい。

問 チャイルドシートの補助を

答 レンタルも含めて検討する

問 本市の地域特性を考えると、交通手段として自家用車がほぼ必需品である。出産後は、チャイルドシートが必要となり、チャイルドシートの相場は2〜4万円と決して安いものではない。本市の出生数や現在のふるさと納税の状況を考慮すれば、

答 購入費用を全額補助した場合でも120万円(3万円×40人の場合)ほどの予算で実現可能であると考える。新たに、チャイルドシートの購入費助成を行ってはいかがか。



土屋 範晃議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



子どもは1人でも、車の台数分購入する場合も…。

幼児の子育て世帯には必須の物でもあるので、ぜひ検討してみたい。その際、子どもの年齢に応じて使用するチャイルドシートが変わることもあるようなので、購入を前提とするだけではなく、レンタルやサブスクリプションなども含めて検討したい。
※一定期間料金を支払うことでサービスを利用できる仕組みのこと。



問 流雪溝のグレーチング管理について

答 流雪溝監視委員によるパトロールを実施

問 雪対策として頼りになる流雪溝が重機等での破損事故が発生している。グレーチング等の管理状況と対応はどのようになっているのか。

答 流雪溝の適正な利用と事故防止のために流雪溝が整備されている地域より委員を選出



高齢者にやさしい投雪口を

して流雪溝管理委員会を設置し、使用上のルールを定め周知している。降雪期には建設課と流雪溝監視委員によるパトロールを実施している。
問 今後の経年劣化等の修繕・整備等の必要個所の把握はどのようにされているか。
答 修繕等については、



安井 一義議員

一般質問・答弁
全文はこちらから





青野 隆一議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 戦略の数値目標見直しを！

答 評価を加え計画を策定する

問 本市では、転出が転入を大幅に上回っている。転出を少なくする数値目標も必要ではないか。

答 大企業や大学があれば、若者の流出は抑えられるが、そのよう

問 流雪溝は整備率の



荻袋地区の早期着工に期待



目標達成のA評価が多いが、その実感は薄い

数値も重要だが、市道・県道を問わず、できることから着手することが必要である。

福原地区の玄関口である荻袋の着工の見通しはいかがか。

答 十分な水量の確保ができており、県に対して重要要望事項に掲げて、早期着工に努力したい。

問 人口減少対策とまちづくりに特化したプロジェクトチームを立ち上げてはどうか。

答 組織横断や官民連携で行うプロジェクト型の活動で相乗効果があるため、事業の内容などによって、適時適切に実施していきたい。



菅藤 昌己議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 職員採用要件の拡大を

答 社会人枠など採用枠の拡大を検討する

問 市役所中途退職の現状はどうか。

答 中途退職する事由としては、転職や婚姻など自身の人生設計の転換などである。今年は、追加募集を実施した。早期に退職するこ

とは本市だけでなく全国の共通課題である。

問 職員採用試験結果の開示状況は。

答 一次試験と二次試験の点数と順位を本人が希望すれば、試験結果を開示している。今



市民が来やすい職場環境を...



一番苦しんだ人こそ一番幸せになる権利がある...

年は、一人に試験結果を開示した。

問 U-Jターン枠や年齢など職員採用要件を拡大してはどうか。

答 一般職員採用年齢要件は、現在35歳未満であるが、職員採用年齢要件の見直しや社会人枠を設けるなど幅広い人材を確保することも検討する。

問 市役所カスタマーハラスメント対策は。

答 親切丁寧な対応をしているが、意見の相違などがある場合がある。防犯カメラや録音機能付き電話を設置している。接遇マニュアルを改訂し研修を実施している。

問 地域コミュニティの活性化は

答 地域と行政が共に築いていく

問 若い世代のリーダー的存在の育成はどうすすめるか。

答 学びの場の拡充を図り、中高生の地域愛を育み、生涯学習団体などの育成や活動に伴走支援をおこない、未来の地域リーダー発掘、さらには地域コミュニティの活性化に努める。



幅広い利用拡大

問 地域単位の共助、相互扶助に支えられるまちづくりが今後より必要と考えるがどう取り組むか。

答 特定地域づくり協同組合やNPO法人といった地域などの人材不足を補完する新たな体制づくりに着手し、地域づくりが先行している地区や集落の地域リーダーの交流会を通じて、先進地の事例が

問 地域コミュニティを今後どう進めるか。

答 市民一人ひとりが心豊かに生きがいのある生活や活力に満ちた地域コミュニティの形成を目指し、各地区公民館を中心にその地域の自然や歴史を捉えた特色ある講座や教室を今後も開催していく。



高橋 隆雄議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



コミュニティーセンター開設も必要では

問 会計年度任用職員の処遇改善を

答 独自の処遇改善に取り組んでいる

問 本市の会計年度任用職員は、何名で全体の何%か。

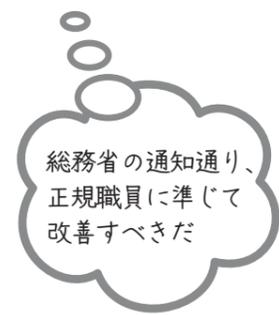
答 現在138名で職員全体の35.4%となっている。

問 会計年度任用職員制度は、雇用の不安と官制ワーキングプアの課題があると認識しているが、どう認識しているか。



鈴木 清議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



総務省の通知通り、正規職員に準じて改善すべきだ

いるか。

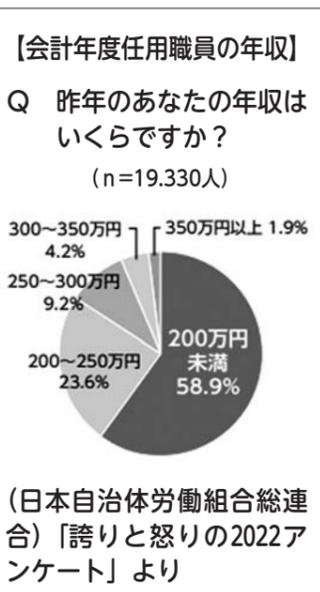
答 「子の看護休暇」「産前産後休暇」など本市独自の処遇改善に取り組んでいる。

問 給与は最低賃金を下回っていないか。

答 山形県の最低賃金の95円を上回っている。

問 給与改定は4月に遡及し、給与上限は引き上げているか。

答 4月遡及は実施していないが、検討し



問 勤勉手当は確実に支給しているか。

答 本市の会計年度任用職員は短時間勤務であるため、再任用職員に準じて支給している。

問 公募によらない再雇用の任用は、回数制限を撤廃しているか。

答 上限回数にとらわれず、面接や勤務実績に基づき任用を行っている。

広域組合議会の報告

R7年度 3市1町の負担金額

市町名	負担金	比率
村山市	2,556万4千円	30.26%
東根市	3,384万4千円	40.06%
尾花沢市	1,563万9千円	18.51%
大石田町	943万2千円	11.17%
合計	8,447万9千円	100.00%



開所から50周年を迎えた北村山視聴覚センター

3月26日、定例会を開催し、令和7年度一般会計予算1議案、関係市町村負担金1議案、人事案件4議案の計6議案を原案のとおり可決した。

令和7年度予算総額は、歳入歳出それぞれ9,570万円（前年度比70万円増額）であり、視聴覚室の照明をLED化する工事や音響装置等の備品購入などが予定されている。

北村山広域行政事務組合議会

令和7年 請願 第1号

全員賛成

国による学校給食の無償化を求める意見書提出の請願

請願者	学校給食の早期無償化をめざす山形県民の会 代表 高木 紘一
紹介議員	鈴木 清
請願内容	1. 学校給食法を改正し、国の責任において全ての市町村で学校給食の無償化を実施できるように進めること。 2. 国による恒久的な給食の無償化が行われるまで、学校給食費の軽減策を実施する各市町村に対して、その財政支援の拡充を図ること。

採択

議会発議第1号 一部字句を調整し、関係機関へ意見書を提出する。

傍聴された方の人数

日付	人数
2月14日	1人
3月6日	11人
3月7日	7人
合計	19人

※アンケート回答：7人

消火栓の除雪などはできていない。

パレットスクエアは市の中心として何かに使用できるように？

傍聴席が「平」なので全員の顔が見づらい。

傍聴に来た方の感想

傍聴者の声



質問する方は、はっきりして聞きやすいが、それに対して答える側の発音がはっきりしない。

学校問題があり、プールの話にも大変だなーと聞いていました。

初めての傍聴です。議員一人ひとりが尾花沢をよりよくするための案を出し合い取り組んでいる議会の様子を見るのができました。次の議会をまた楽しみにしております。

議場が新しくなり傍聴しやすいと思います。

【人事案】
同病院事務長の高橋重俊氏(63)＝東根市羽入IIを再任することに同意した。任期は3年。

R7年度 3市1町の負担金額

市町名	負担金	普通交付税充当後の実質負担額
村山市	4億1,151万円	3億3,076万円
東根市	7億4,436万円	5億9,839万円
尾花沢市	1億9,831万円	1億5,947万円
大石田町	8,924万円	7,175万円
合計	14億4,342万円	11億6,037万円

北村山公立病院組合議会は、第1回定例会を3月27日東根市議場で開催し、令和7年度事業会計当初予算、3市1町の負担金額など7議案を原案通り可決・同意し、閉会した。

【令和7年度当初予算】
病院事業収益55億8,691万円、同費用60億1,367万円の赤字予算。

北村山公立病院組合議会

ごみ処理施設整備事業の概要(スケジュールと事業費見込)

発注順	工事名	施設整備スケジュール						
		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
前期	ごみ処理施設建設工事	[Progress bar]						
中期	ごみ処理施設給水管布設工事	[Progress bar]						
後期	ごみ焼却施設等解体及び資源物保管施設建設工事	[Progress bar]						

【金額単位：千円】

発注順	工事名	施設整備費	財源内訳		
			交付金	過疎債特別分	一般財源
前期	ごみ処理施設建設工事	10,587,280	2,346,843	8,167,300	73,137
前期	上記に係る施工監理等業務委託	66,000	11,731	53,600	669
中期	ごみ処理施設給水管布設工事	19,080	4,240	14,700	140
後期	ごみ焼却施設等解体及び資源物保管施設建設工事	946,432	222,027	724,200	205
後期	上記に係る施工監理等業務委託	23,750	3,915	19,700	135

3月21日、定例会を開催し、令和6年度補正予算4議案、令和7年度会計予算5議案並びに、令和7年度ごみ焼却施設維持管理補修工事請負契約の締結についての10議案を可決した。

尾花沢市大石田町 環境衛生事業組合議会